

10月 つきぐみだより

ハッピープレゼントに向けて

『しらゆきひめ』編

8月下旬からハッピープレゼントで行う劇の子ども会議が始まりました。子どもたちが特に好きな3つの紙芝居の中から選ぶことになり、子どもたちだけの会議をしながら先生は困ったときの相談場所となり、話し合いを進めていきました。

(道徳性・規範意識の芽生え) (協同性) (思考力の芽生え)

詳しくはみそらこども園のinstagramや、8月の職員室だよりに掲載しています。



劇が『しらゆきひめ』に決まってからは、みんなで役決めをしました。話し合いの中で人気の役は話し合いをして決め、職員が介入しなくても自分たちの力で話そうとしている姿が見られました。(言葉による伝え合い) (協同性)

役が決まってからは、他園のしらゆきひめの劇を参考にしたり、いつも読んでいる紙芝居の『しらゆきひめ』を見たりしながら場面ごとに分かれてセリフを考えました。自分たちだったら何というかを考えながら、子どもたちなりの楽しいセリフを考えていきました。

(思考力の芽生え) (豊かな感性と表現力)



お稽古が始まってからは、自分の役を楽しみながら演じている姿が見られました。最初は大きな声を出すのを恥ずかしそうにしている様子がありましたが、練習を重ねていき徐々に大きな声で言えるようになっていきました。また、劇で使用する道具は子ども達が自分で作りました。「こんなの作りたい!」「こんなものがあつたらいいかも!」と沢山の案をみんなに伝えて、それぞれ自分なりの素敵な道具を作りました!(思考力の芽生え)

(言葉による伝え合い) (豊かな感性と表現)



踊りのお稽古編

8月から始まった踊りのお稽古では9月の終わりにはほとんどの子どもたちが振り付けを覚えてきました。「踊りのお稽古行くよ」と先生から声がかかると「やった〜!」とお稽古を楽しみにしている様でした。園庭では他のお友達のお稽古の曲が流れているので、踊っているお友達を見て他の踊りを覚えている姿があり、体を使って表現する楽しさを感じている様子でした。(健康な心と体) (豊かな感性と表現)

